

令和6年度青森県発達障がい者支援地域協議会  
(令和7年1月31日)

青森県発達障がい者支援センター「Doors」(県南地域)  
取組状況及び今後の取組の方向性について

## 運営事業実施状況（４月～１１月）

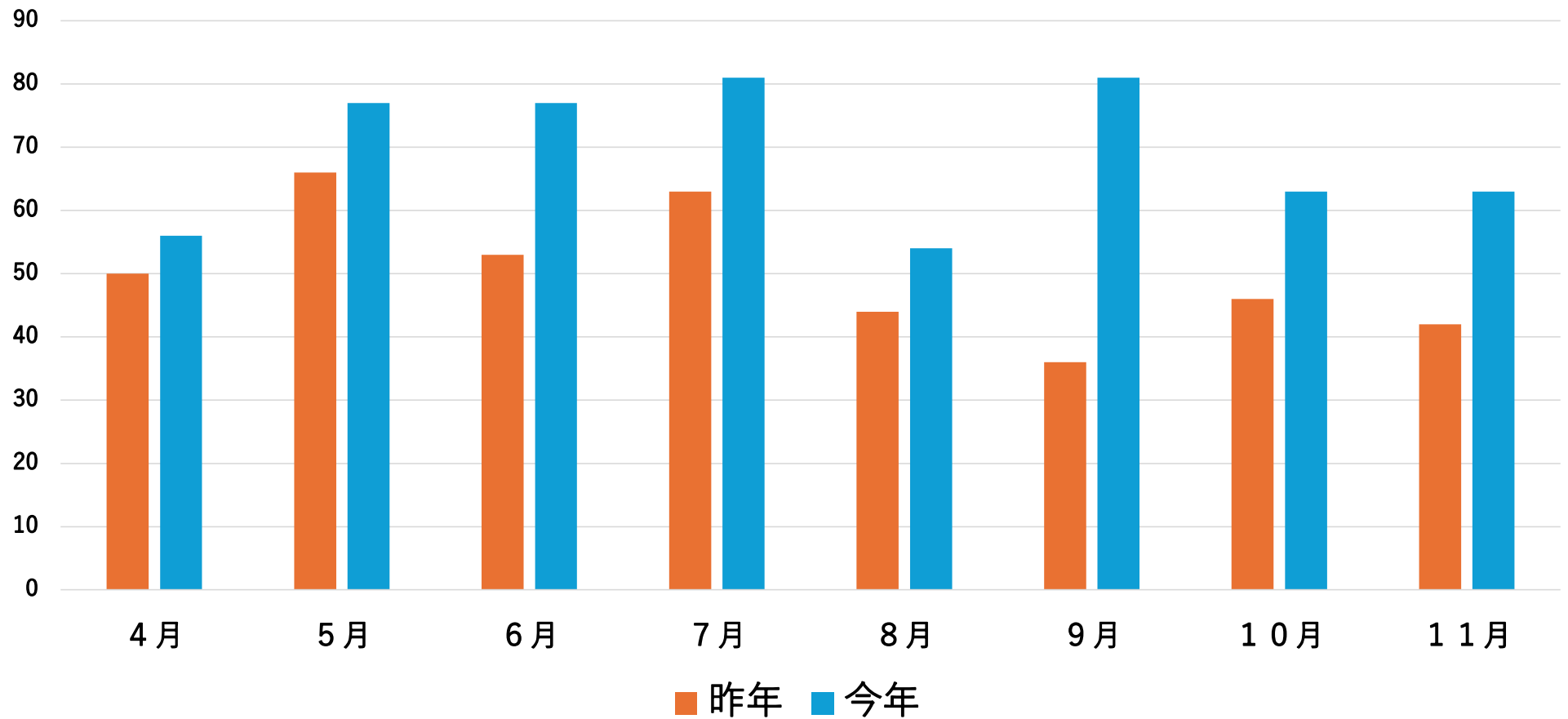
発達支援	実支援人数	１５９名（２２１名）
	延支援件数	４８５件（３６７件）
就労支援	実支援人数	２８名（１７名）
	延支援件数	６７件（３４件）
連絡協議会の開催状況	実施回数	１回（１回） ※１月に実施
他の協議会への参加状況	参加回数	７回（７回）

（ ）は昨年度同時期の実績

各市町村の相談者数（令和6年4月～11月）

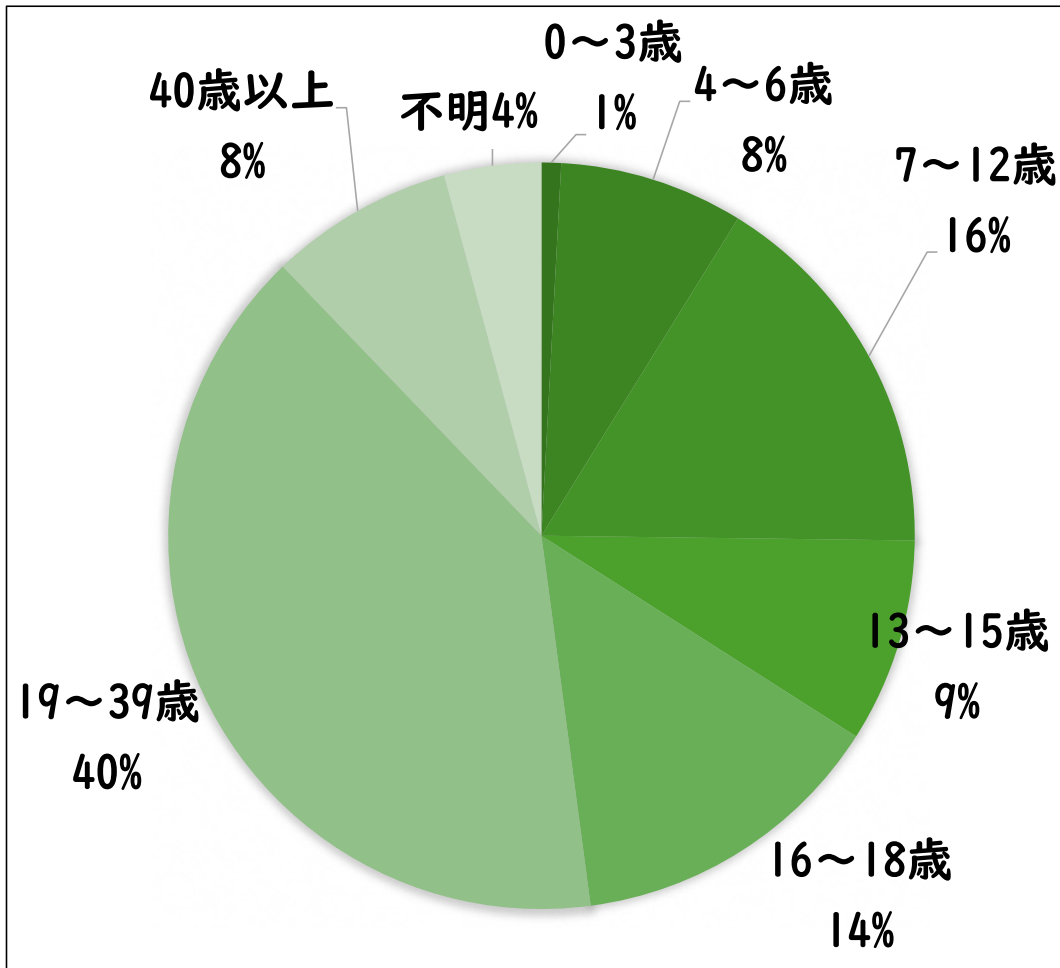
	0～3歳	4～6歳	7～12歳	13～15歳	16～18歳	19～39歳	40歳以上
八戸市	4	8	23	9	10	35	5
十和田市	0	8	5	2	0	4	2
三沢市	0	1	0	1	0	4	1
野辺地町	0	0	0	0	0	1	1
七戸町	0	1	1	0	0	0	0
六戸町	1	1	1	0	1	1	0
東北町	0	1	2	0	0	0	1
おいらせ町	0	1	5	1	0	2	0
三戸町	0	0	1	0	0	0	0
五戸町	0	1	4	4	2	5	0
南部町	0	0	3	0	0	2	0
階上町	0	0	3	0	1	0	1
横浜町	0	0	0	0	0	0	0
田子町	0	0	0	0	0	0	0
六ヶ所村	0	0	0	0	0	0	0
新郷村	0	0	0	0	0	0	0

# 相談件数の推移

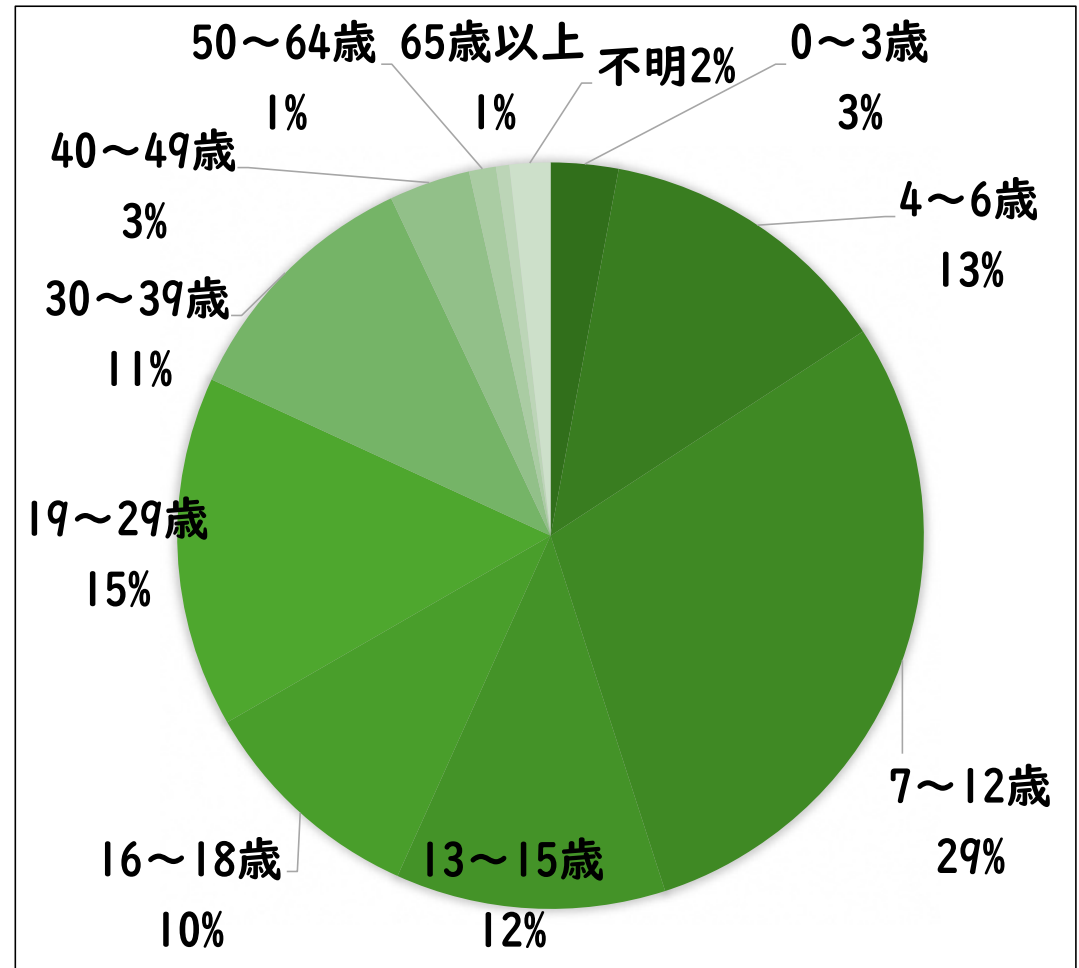


# 年齢層の割合（４月～１１月末）

昨年度

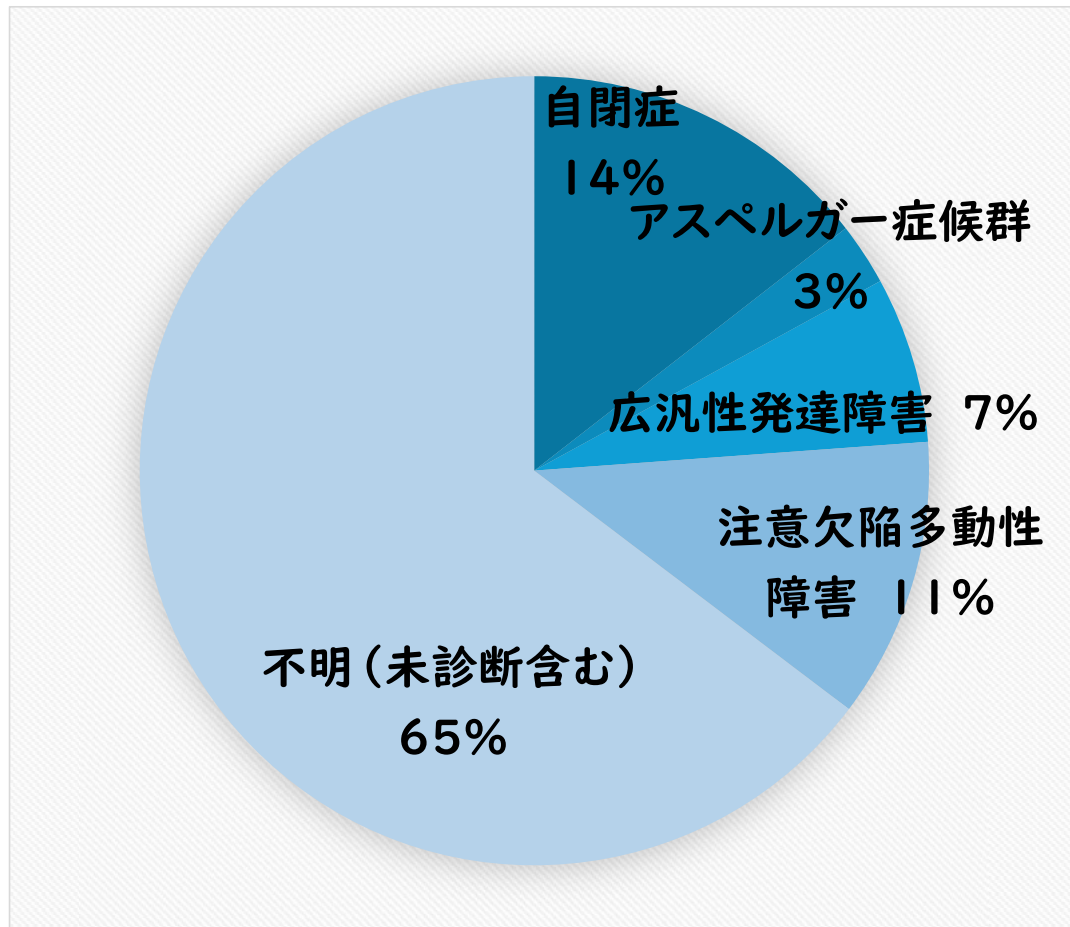


今年度

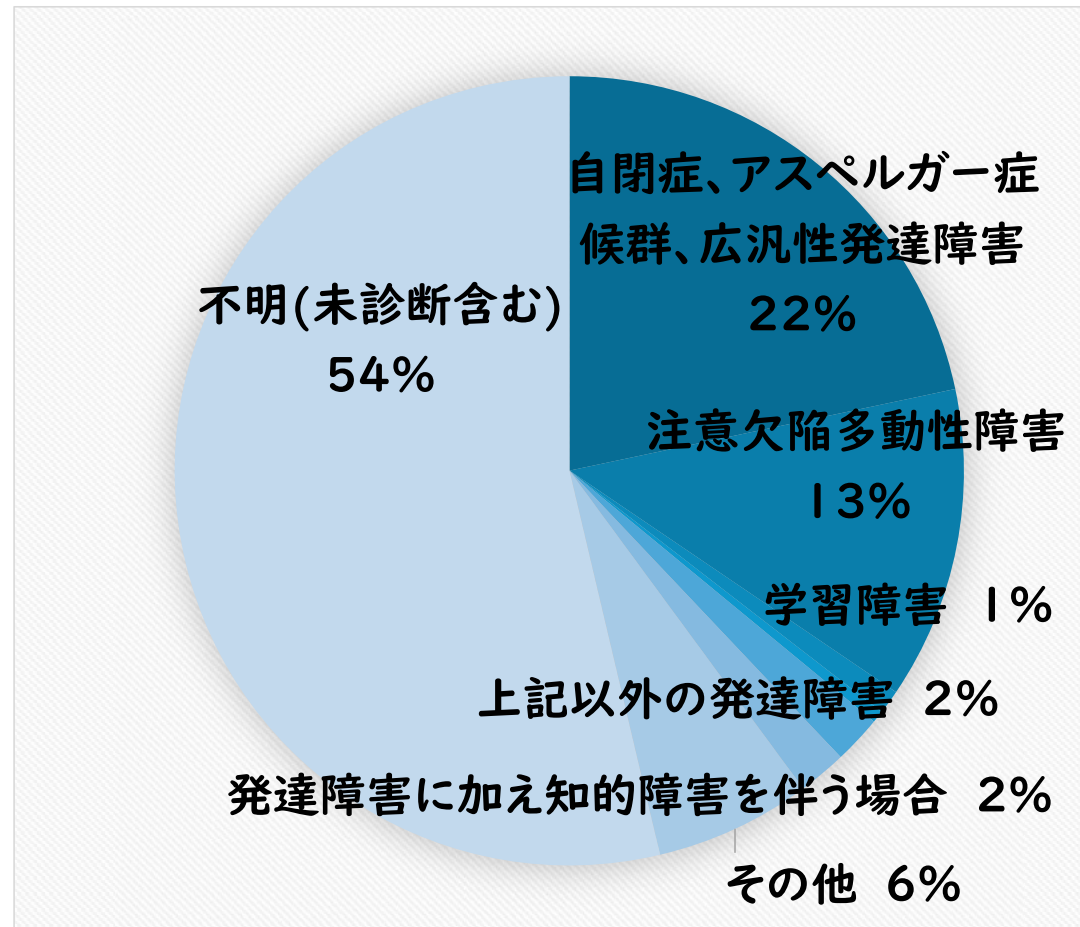


# 障害種別の割合（４月～１１月末）

昨年度



今年度



# 相談内容別の割合（４月～１１月末）



# Doors連絡協議会

**【開催日時】**令和7年1月29日(水) 13:30~15:00

**【開催方法】**オンライン(Zoom)

**【 テーマ 】**各市町村の家族支援の取り組みと支援ニーズについて

**【参加機関】**八戸市すくすく親子健康課、十和田市こども家庭センター、三沢市こども未来課、野辺地町健康づくり課、横浜町健康みらい課、東北町保健衛生課、六ヶ所村こども支援課、おいらせ町保健こども課、三戸町健康推進課、五戸町健康増進課、田子町役場、南部町健康こども課、県障がい福祉課



# 支援体制整備事業実施状況

## 発達障がい者支援地域連携強化事業

【内容】学校や保育園等の巡回相談及び各市町村にて子育てに関する相談等を実施

巡回相談（十和田市、むつ市、七戸町、六戸町、横浜町、おいらせ町、六ヶ所村、風間浦村の各機関）	延支援件数	20件
--	-------	-----

事例検討会（オンライン）	実施回数	1回
--------------	------	----

## 発達障がい児者支援スキルアップ研修事業

【日時】令和6年6月1日（土）13:00～16:30 Zoomによるオンライン（録画講演）

【講師】大河原美以 氏（公認心理師・臨床心理士）

【対象】小学校、幼稚園、保育園、放課後児童クラブの先生等

【テーマ】「感情のコントロールの力はどのようにして育つのか？」

【参加者数】100名

# 発達障がい児者支援スキルアップ研修受講者の感想

---

- ・幼稚園でもキレやすい、怒りっぽい子が増えてきたように感じていた中での研修内容で興味深いものでした。勉強になりました。ありがとうございました。
- ・普段から受容することは重点をおいて保育はしているつもりですが、やはり負の感情は良くないものとして扱ってしまうこともあります。今回の研修で改めて受容するということの意味を考えながら保育していきたいと思います。
- ・ネガティブな感情を表現する事を我慢する様な教育を家庭でも学校でもなされていると思いました。今回のような研修は教員、保護者共に必要だと思いました。
- ・具体的な支援、保育、教育方法に迷う関係者がたくさんいる中でこの研修を多くの方に受けてもらえるよう、ぜひリクエストを希望いたします。

# 支援体制整備事業実施状況

## 家族サポート応援事業

### (ア) ペアレントメンター研修

講師：渡邊一弥 氏（公認心理師・社会福祉士・精神保健福祉士）

●養成 【日時】令和6年27日（火）9:30～12:40（オンライン）【参加者】5名

【内容】ペアレントメンターについて、メンター活動報告、傾聴のポイント、ロールプレイ

●フォローアップ 【内容】傾聴技法や守秘義務について（動画視聴）【参加者】23名

### (イ) 青年期等支援事業

●集団活動【ゲーム交流会、お話会（好きなことについて等）】（参加人数…29名）

●個別活動【フリースペースや就労体験の機会を提供】（利用人数…30名）

※集団活動は月1回程度開催、個別活動は随時

# ペアレントメンター研修受講者の感想

---

- ・言葉だけでなく非言語コミュニケーションの大切さがわかりました。うなずいたり、大切なところ、相手が伝えたいことを繰り返すことで、相手の話を引き出したり。相手の言葉を待つということも大切だなあと感じました。相談に来てくれた方安心して気持ちを出せるような、また次も話を聞いてもらいたいと思ってもらえるような、メンターになりたいです。
- ・話し下手でメンター活動に自信がなかったのですが、会話が7%で残りの93%は聞く姿勢が大事だと言うところが少し自信に繋がりました。対応と応答に関してもぼんやりしていた理解がはっきりとしてためになりました。傾聴の技術のアドバイスも私に足りないものが分かり勉強になりました。
- ・傾聴技法の基本を丁寧に説明して頂いたので、その一つ一つを少しでも良いので身につけて実践していきたいと思います。積極的傾聴、非言語の部分特に気を付けていきたいです。うなづきや相づちはしやすいのですが、応答のスキルは難しくて上手にできていないと反省しました。大変勉強になるととても良い研修をありがとうございました。

# 青年期等支援事業イベント参加者の感想

---

- 共通のゲームや趣味の話ができてすごく楽しかった。
- 自分を受け入れてくれる方々に出会えて良かった。
- 複数人で集まってのゲームは小学生以来で内心盛り上がりました。
- 楽しみながら、苦手な自分の意志を伝えることがわずかながらでき、良かった。  
あまり交流のない集まりながら、心を開いて接せられる関係ができ嬉しいです。
- 普段ボードゲームをやり慣れてないので不安だったけれど楽しめた。とても新鮮だった。協力ゲームの醍醐味を感じられた。



## 相談の傾向について

- 落ち着きがない、暴言や暴力がある、学校に行けない等の理由で発達障害を疑って相談されるケースが増えている
  - 「発達の凸凹」からくる生活上の躓きよりもアタッチメント不全（感情の未発達）から生じている「関係性の問題」に対する支援の必要性を感じることも多い
  - 地域の家族支援体制の強化がより必要になってくるのではないか
-

# 今後の方向性について

発達障がい者支援地域連携強化事業	家族支援体制の充実に向けて社会資源の少ない地域を中心に、市町村が企画する早期支援にかかる事業等の後方支援に力を入れていく
発達障がい児者支援スキルアップ研修事業	引き続き、保育園や療育施設の見立て力・支援力の向上に向け、実践に繋げやすい研修会の内容を検討、実施していく
家族サポート応援事業	<ul style="list-style-type: none"><li>・ペアレントメンター研修…オンライン研修を継続</li><li>・青年期等支援事業…個々のニーズに合わせ、集団活動及び個別活動を実施していく</li></ul>